

# ●文芸書(海外文学) ご担当者さま

2刷即品切、3刷  
3月下旬出来予定

この本が今の時代にまた日本で出版されることになって本当によかったと思う。親と別れて遠くへ送られて生き延びるというモチーフひとつ取ってみても、原発事故の終わらない今の日本ではすぐにびんとくる。建築のあり方や生物界についてこれから精密な議論を重ねていかなければいけない日本に、この邦訳は、豊かで見ずみずしい語彙と上質のペシミズムを与えてくれる。

多和田葉子氏解説「異言語のメランコリー」より

## 補充忘れ厳禁、面陳・平積み推奨

### W・G・ゼーバルト 著／鈴木仁子 訳 アウステルリッツ

#### 【以下続刊】

『移民たち』解説：堀江敏幸。 2020年4月刊行予定。  
『目眩まし』解説：池内紀。 2020年5月刊行予定。  
『土星の環』解説：柴田元幸。 2020年6月刊行予定。  
刊行時期は変更になる場合がございます




#### 全米批評家協会賞ほか、多数受賞の最高傑作

建築史家のアウステルリッツは、帝国主義の遺物の駅舎、要塞、病院、監獄を巡り、〈私〉に暴力と権力の歴史を語る。解説：多和田葉子。

貴店印	希望数	978-4-560-	書名	本体価格
		09748-9	アウステルリッツ	3,000円
【特製ポップ謹呈】				

(株)白水社 営業部 TEL 03-3291-7811

FAX 03-3291-8448 (備考 2-97)

 <p>「当出版社からのFAX情報停止を希望される方」は、下記記載の上、FAXで返信いただけますようお願いいたします。</p> <p>このフリーダイヤルでは御注文をお受けできません</p>	<p>共有書店マスター・FAXサービスセンター・停止受付専用ダイヤル</p> <p>FAX: 0120-106394 (24時間受付)</p> <p>自動音声案内: 0120-147456 (24時間受付)</p>	<p>貴店名:</p> <p>F A X:</p> <p>芳 名:</p> <p>電 話:</p>	<p>18448192330</p>
---	---	---	--------------------